

入院診療計画書（腹腔鏡下胃切術を受けられる方へ）

診療科消化器外科

入院病棟：

患者ＩＤ：

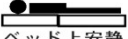
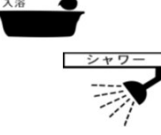
病名：

患者氏名：

症状：

入院期間：約

日間

経過 (日付)	入院日	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	【退院予定日】	退院後
	月日	月日	手術前	手術後	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	
到達目標	手術の準備(必要書類・必要物品の準備)ができる。 分からないことを医療者に尋ねることができる。	手術内容を理解し、手術を受けることに同意している。	絶飲食の時間を守ることができる。	痛いときは我慢せず過ごすことができる。	痛み止めを使いながら病棟内を歩くことができる。	尿管が抜け、病棟内を歩行することができる。	痛みのコントロールができています。	水分や食事摂取後に発熱・腹痛がない。 排ガスがみられる。	シャワーが行なえる。 食事方法が理解できる。	排便コントロールができる。 分割摂取ができ、腹部の症状がない。	【退院の目処】 退院後の生活について注意事項が理解できる。	! ☆退院日後の退院後日初回外来受診日を感じたら受診日をお伝えいたします。
治療・処置	・体重測定をします。 ・内服薬の確認をさせていただきます。	・臍処置をします ・麻酔担当医師の診察があります。	朝1番以外の手術は、点滴を行います。 血栓予防のストッキングをはきます。 手術用の病衣に着替えます。 義歯・メガネ・時計などの貴重品は外してください。	・24時間点滴と抗生剤の点滴があります。 ・痛みに対しては痛み止め等、吐き気があれば吐き気止め等の援助をさせていただきます。 ・鼻から管が胃に入ります。 ・酸素マスクをつけます。 ・お腹に管は入っています。	 点滴			通常、5分粥が半分以上食べられたら、点滴がなくなります。 状態を見ながらお腹の管を抜きます。				
検査		採血があります。		手術室で、レントゲン・採血があります。 	採血があります。 		採血があります。 		採血があります。 			
安静	制限ありません。  安静度フリー			帰室後ベッド上安静です。  ベッド上安静	歩行を始めます。	床ずれや腸閉塞の予防につながるため、歩行練習を積極的にしましょう。  安静度フリー					退院です。  退院	
食事	制限ありません。 必要時特別食です。 	21時より絶食	絶飲食です 		医師の指示で、飲水ができますようになります。 		三分粥(分割摂取)	五分粥(分割摂取)	→	全粥(分割摂取) 	→	
排泄		下剤を飲みます。		尿の管が入ります。		排ガスがあればお知らせください。 状況に応じて尿の管を抜きます。 抜いた後は、尿量を測定してください。						
清潔	入浴またはシャワー 	入浴またはシャワー 	歯を磨いてください。	うがいをしましょう。	・歯磨きをしましょう。 ・体を拭きます。 				シャワーに入れます。 			
リハビリ					歩行練習							
説明	・入院時オリエンテーション ・医師からの手術についての説明があります。(外来で行われていない場合)	手術オリエンテーション 	家族の方は、手術開始の2時間前に病院にお越しください。	家族の方へ手術後の説明があります。 	本人様へ手術後の説明があります。	食事指導をします。				・栄養相談(患者様、家族) ・服薬指導	退院時指導 地域連携バスの説明	

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。

特別な栄養管理の必要性【有・無】

総合的な機能評価【該当する場合別紙にて評価】

上記の入院診療計画について説明を受け、了承しました。

主治医：
説明者：

担当看護師：

説明日：西暦

担当薬剤師：

年

患者（親権者あるいは代理人）署名

氏名：

月

日

+

倉敷中央病院+

(消化器外科 2012年2月作成 2015年8月修正)